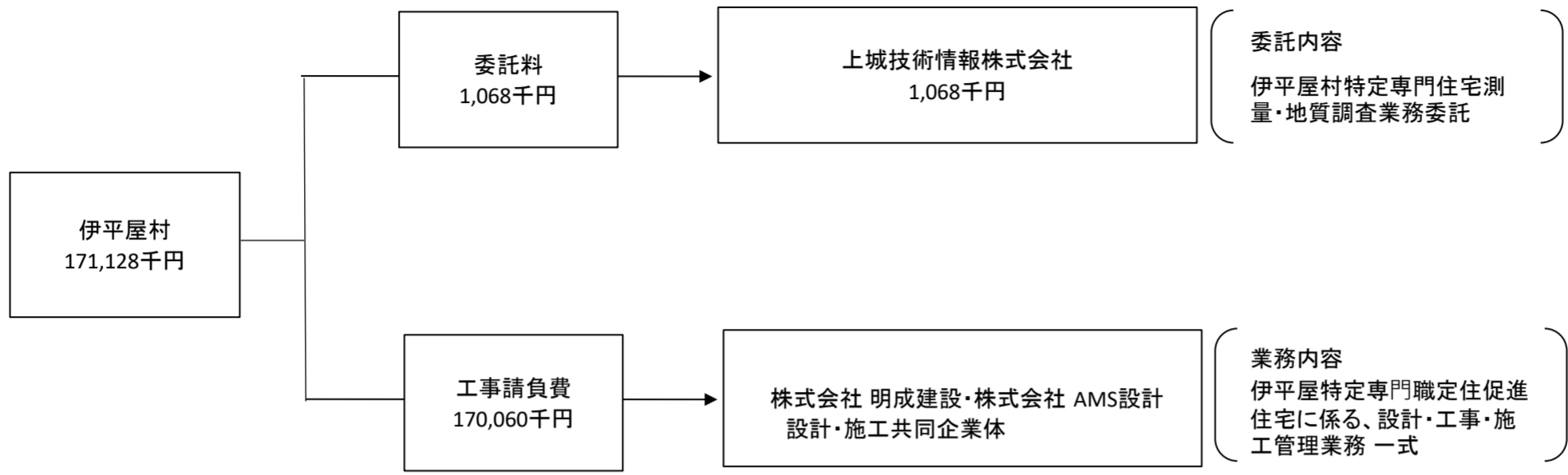


市町村名	伊平屋村																
<b>令和4年度(繰越)沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート</b>																	
事業名	伊平屋村特定専門職定住促進住宅整備事業			事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他												
担当部課名	企画財政課	現年事業または繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/> 現年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 繰越事業	事業実施(予定)年度	令和4～5年度												
事業内容	<p>持続的な村づくりに必要な人材を確保するため、専門職(保健師、保育士、看護師、起業家人材、ICT技術者等)向け定住促進住宅を整備し、移住・定住環境の改善を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>先導性等に係る取組</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 自立性  <input type="checkbox"/> 官民協働 </td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携  <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成 </td> <td> <input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成  <input type="checkbox"/> その他 </td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <input checked="" type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの </td> </tr> </table>					先導性等に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他			<input checked="" type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの					
先導性等に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他														
<input checked="" type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの																	
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)																
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )																
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		令和4年度	令和4年度(繰越)	年度	年度	年度											
	予算の状況	当初予算額	172,668	0													
		増減額	0	0													
		予算現額	172,668	0													
		前年度から繰越	0	172,668													
		翌年度へ繰越	172,668	0													
		計(A)	0	172,668													
	執行済額(B)	0	171,128														
	うち補助金充当額	0	136,902														
	不用額	0	1,540														
執行率(%) (B/A)	0.0%	99.1%															
予算の状況の説明	当初見込みよりも低額で契約を締結できたため不用額が生じたものの、繰越した事由に沿って定住促進住宅の整備を行い、適切に執行することができた。																
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	活動目標(指標)		達成状況														
			令和4年度	令和5年度	年度	年度	年度										
	定住住宅の新築棟数	目標	1	1													
		実績	0	1													
達成状況説明	当初計画では令和5年3月に完了見込みとしていたが、新型コロナの影響で測量調査に遅延が発生したため、翌年度へ繰越して実施し、令和6年3月に完了した。																
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	成果目標(指標)		基準値(年度)	令和5年度	年度	年度	後年度目標値(令和6年度)										
	入居世帯	目標	-	-			8										
		実績	-	-			8										
	進捗状況説明	定住促進住宅が令和6年3月に完成し、全8戸に専門職が入居。目標は計画通り達成された。															
<b>取組の検証</b>	成果目標に対する原因・要因分析			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)													
	○専門職に対する需要調査および入居予定者の見込みが計画段階からの確に行われており、実際のニーズに即した住宅整備が実現された。併せて、村が進める移住支援施策や専門職確保の取組との有機的な連携が図られていたことも、事業の成果につながった。			○入居者の定着率や地域貢献度を指標化し追跡調査を実施することで、住宅整備事業の成果を定量的に評価し、中長期的な人材確保・地域活性化への波及効果を把握する。													
<b>今後の取り組み方針</b>																	
○入居者の定着状況や地域貢献を継続的に把握し、住宅整備の効果を定量的に評価・政策へ反映する。 ○定住継続に向けた生活支援や就業環境の整備により、専門職が安心して定着できる環境を構築する。 ○人口動態や人材配置を踏まえ、追加整備や既存住宅の活用を検討する。																	

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担額	補助対象外経費
171,128	171,128	136,902	34,226	0



資金の 用途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者とは、地方自治法施行令第167条の2第1項第6号の規定に基づき随意契約を締結しており、選定方法については妥当であったと考えている。 設計・施工業者はプロポザール方式で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模においては沖縄県土木建築部建築設計業務棟積算基準に基づき積算したことから適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。